

学校だより

NO.24

2024（令和6）年11月20日

伊賀市立西柘植小学校

発行責任者 里田雅彦

校内芭蕉祭

10月30日(水)に校内芭蕉祭を行いました。まず、全校で「芭蕉さん」を齊唱した後、芭蕉祭献詠俳句に入選した児童から俳句と俳句に込められた思いの発表がありました。今年は、特選・入選を合わせて、全部で13人が選ばれました。次に、図書委員から芭蕉さんの俳句をクイズにした「俳句クイズ」があり、「よくみれば 口 口口はなさく かきねかな この口に入る花の名前は何でしょう。」等、考え合いました。クイズを楽しみながら、芭蕉さんの俳句に込めた思いを感じ取ることができました。

今年は芭蕉さんが生まれてから380年目を記念して、伊賀市内でたくさんの行事が行われています。そうした行事にも参加する中で芭蕉さんについて知り、これからも俳句作りに取り組んでいってほしいと思います。



5年生人権総合学習

11月6日（水）に伊賀市教育委員会生涯学習課の川口さんから話を聞きました。3年生の時にハイトイア伊賀で話を聞かせてもらったので、今回は2度目の出会い学習です。川口さんは、まず生涯学習課の仕事について話してくれました。伊賀市に住む人たちの安心・安全な暮らしをつくる仕事をしていること、具体的には命の大切さや人権のことを勉強する機会をつくり、思い込みや決めつけ、噂を信じることで起こる差別をなくす取組をしていることを教えてくれました。今、思い込みや決めつけをしている自分に気づく人が増えてきて、だんだんと差別がなくなっているが、まだ差別はあるので、そうしたことに気づく人を増やしていきたい、5年生のみんなも自分を振り返っていってほしいと話されました。子ども時代の川口さんの体験談や大人になって気づいたこと等を聞かせてもらうことにより、子どもたちは自分に引き寄せて話を聞き考えていました。最後に、思い込みや決めつめをなくすためにしっかり話を聞いて本当かどうか確かめられる人になって欲しいことを話されました。今後、自分や自分たちの学級のことと重ね、さらに学習を深め、安心できる仲間について考えていきます。

